

2021年(令和3年)

4/10

No. 1221

東京都トラック時報

昭和43年8月16日 第三種郵便物認可 毎月2回(10・25日)発行 1部 90円(送料別)

機関紙

一般社団法人
発行所 東京都トラック協会

〒160-0004 東京都新宿区四谷3-1-8
(東京都トラック総合会館)

☎(03)3359-6251(代表)

☎(03)3359-4134(総務部広報G)

《ホームページアドレス》<https://www.totokyo.or.jp/>

事故防止へ統一街頭活動

東ト協

春の交通安全運動



横断歩道の安全誘導など街頭活動(写真⑤)荻窪駅北口交番前付近) トラックストップ作戦も実施(写真⑥)大崎郵便局前交差点付近)

東京都トラック協会(浅井隆会長)は令和3年春の全国交通安全運動期間(4月6～15日)を迎え、街頭指導活動の「統一実施日」に設定した4月8日、17支部が歩調を合わせて交通安全をアピールする街頭活動を展開した。新型コロナウイルス感染症の新規感染者数が再び増加傾向にある中、感染防止対策を講じながら行ったもので、期間中は同日以外にも各地域で街頭活動を実施する。都内では、今年も事業用貨物自動車関係の死亡事故が増加傾向にあることから、東ト協は業界の最重要課題として、引き続き安全運動の励行などを呼びかけ事故防止に取り組む方針だ。

東ト協では交通安全運動をより効果的に推進するため、春・秋の運動期間中に街頭活動の統一実施日を設定し、各支部が歩調を合わせて活動を行っている。昨年は新型コロナウイルスの拡大に伴い、春の運動期間に「緊急事態宣言」が発令され、秋の運動は感染症に加え台風接近の影響もあり、ほとんどの支部が中止を余儀なくされたが、今年春の運動では多くの支部が足並みを揃えて活動を展開。各支部の会員事業者が街頭活動用の黄色い帽子やベストなどを着けて街頭に立ち、地域の主要な道路や駅前の交差点などで、所轄警察署の協力を得て歩行者や自転車の安全誘導を行うとともに、啓発チラシやノベルティなどを配布しながら、交通ルールの遵守や事故に遭わないよう呼びかけた。

また、いくつかの支部では「トラックストップ作戦」として、警察官の誘導で通行するトラックに停車を求め、直接、運転者に安全運転の励行と事故防止を呼びかける活動も実施した。

事業用事故が増加傾向 注意喚起・指導強化を

警視庁管内では、昨年の交通事故死者数が年間155人と前年比23人増加し、今年も4月5日現在で38人と前年同期比1人多い状況にある。こうした中で、事業用貨物車関係の死亡事故も増加傾向にある。東ト協が全会員に発出している「トラック事故

項目	死亡事故件数		
	総件数	会員関与	会員一当
令和2年	1(23)	0(9)	0(5)
3年	6	3	0
増減数	5	3	0

※令和2年欄の事故件数は、令和3年の集計期間と前年同期間の件数であり、()内の数字は令和2年中の死亡事故件数の累計



今年も事業用貨物車関係の死亡事故が多く、3月31日現在で6件と前年同期比5件多い。会員関与は前年同期のゼロ件から3件に増加している。会員第一当事者の死亡事故は現時点で発生していないが、警戒を要する状況にある。

公式Facebook 情報発信を強化

東ト協はこのほど、代表的SNSのFacebookに公式ページを開設・公開した。ホームページとは異なり、会員などのフォローを受けることで継続的にプッシュ型の情報提供を行うことができ、会員サービスの向上に役立つとともに、協会活動の一般市民へのPRにもつながることから、活用することにした。今後、各部の

引き続き、感染防止対策を講じながら輸送業務を遂行せざるを得ない状況にあるが、事故防止の徹底を図るためには、改めて運転者に注意喚起するとともに、安全運転の励行を指導し徹底することが求められている。

紙面あんない

- | | |
|-------------------|---|
| 国交省、運行管理の高度化検討会設置 | 2 |
| 中企庁、事業再構築補助金の公募開始 | 3 |
| 東ト協、環境・労務厚生各委員会 | 4 |
| 東ト協、運輸安全・物流政策各委員会 | 5 |
| 東ト協連、第34回運賃動向調査結果 | 7 |

古紙パルプ含有率80%再生紙を使用 R80

国交省 事業用安全プラン2025 トラック追突事故防止へ

国土交通省は3月30日、新たに「事業用自動車総合安全プラン2025」安全トライアングル(の定着と新たな日常における安全確保)「計画期間・令和3～7年度」を策定し、公表した。新プランは、新型コロナウイルス感染症の影響や激甚化・頻発化する災害など社会環境の変化や事故発生状況、ICT・先進安全技

術の急速な発展などを踏まえて策定した。新プランでは、依然として発生する飲酒運転や健康起因事故対策、先進技術の開発・普及を踏まえた対策などを盛り込み、新たに重傷者数や各業態の特徴的な事故に対する削減目標を設定。全体目標は①24時間死者数225人以下、②重傷者数2120人以下、

総合安全プラン2025目標

- 【トラック】
- ①死者数 190人以下
 - ②重傷者数 1,280人以下
 - ③人身事故件数 9,100件以下
 - ④飲酒運転ゼロ
 - ⑤追突事故件数3,350件以下

具体的には、新型コロナウイルス感染症に伴う運送労働環境の変化と付帯作業の増加に対応するため、国交省は非接触型事業運用や業務効率化に向け、IoT

東ト協 令和3年度 児童絵画作品コンテスト 小学児童対象に 応募作品を募集

東ト協は、令和3年度「10/9トラックの日」児童絵画作品コンテストの作品を募集している(本号に募集案内を同封)。



コンテストを通じて、トラック運送業がエッセンシャル事業として、生活と経済のライフラインの役割を果たすとともに、交通事故の防止や地球環境の保全に努めていることを、広く社会に理解してもらうために実施しているもの。審査の上、最優秀賞1人、優秀賞9人(低・中・高学年各部門3人)、佳作10人を決定し、表彰する。入賞者

募集もお待ちしております。●募集期間 9月10日まで●募集テーマ ①「安全なトラック」環境にやさしいトラック②「働くトラック」③「未来のトラック」※絵画には必ず「10月9日トラックの日」の文字を記載すること●用紙・画材 ①八つ切り画用紙に横書き(厳守)。画材は絵の具・クレヨンなど自由。▽問い合わせ・応募先 東ト協総務部広報G ☎03・3359・4134

運行管理
高度化検討会

国交省

I T点呼対象拡大や
自動化など実証実験

国土交通省は、新たに「運行管理高度化検討会」を立ち上げ、4月以降、I T点呼(遠隔点呼)の対象拡大に向けた機器の性能要件や、自動点呼の導入に向けた点呼支援機器の認定制度などに関する検討や実証実験を行う方針だ。

安全性向上や労働環境の改善、労働力不足の解消などの手段として、情報通信技術(ICT)を活用した運行管理の高度

化に向けて検討会を設置したもので、3月24日に令和2年度第1回会合を開催した。

今後、次のテーマ別に実証実験などを行い、制度設計に係る具体的な検討を行っていく方針。

①I T点呼の対象拡大
②運転者の情報提供が可能な高度な点呼機器の使用を前提に、他営業所の運転者に対するI T点呼を認めることを検討。4月以降、事業者において第1弾の実証実験を実施するとともに、その評価手法を検討。7月以降、実験結果の評価とそれに

基づく機器性能などを検討するとともに、10月以降、第2弾の実証実験を行う予定。その後12月をめどに遠隔点呼制度化案の取りまとめを行う方針。

②始業時・終業時点呼における自動点呼の導入
③点呼支援機器(ロボットなど)が点呼における確認、指示項目の一部またはすべてを代替できるような機器の要件を検討。4月以降、始業時・終業時点呼支援機器の性能評価方法などを検討。10月以降、事業者における終業時点呼支援機器の実証実験を行うとともに、その認定制度を検討する。また、来年3月をめどに終業時点呼支援機器の認

定制度案、および始業時点呼支援機器の性能要件案を取りまとめる予定。

③運行指示者の一元化
運行中の他営業所の運転者・車両に対する運行指示を行えるよう、営業所や運行管理者が満たすべき条件を検討。4月以降、運行指示者の一元化に係る課題の整理と評価方法などを検討。10月以降、事業者における実証実験を行うとともに、制度案を検討する。

④運行時以外の運行管理業務の一元化
運行管理業務のすべてを他営業所で行うことができるよう、営業所や運行管理者が満たすべき条件を検討。4月以降、事業者に対するニーズ調査を実施する。

中小企業庁が発展的
に改組設置した「事業承継・引継ぎ支援センター」

中小企業庁が発展的に改組設置した「事業承継・引継ぎ支援センター」が4月1日から、各都道府県で活動を開始した。昨年6月の産業競争力強化法の改正に伴い、これまで第三者承継支援を

行ってきた「事業引継ぎ支援センター」に、親族内承継支援を行っていた「事業承継ネットワーク」の機能を統合して支援体制を強化したもので、これによりワンストップで各種支援を行うことができる。

支援内容は、無料で事業承継・引き継ぎ(親族内・第三者)に関する相談へ対応するとともに、事業承継などに向けた課題の抽出、承継計画の策定、譲受・譲渡企業を見つけるためのマッチング支援など。

詳細は、中小企業基盤整備機構「事業引継ぎポータルサイト」を参照。

19日午前10時～11時30分、27日午後3時30分～4時30分。会場はいずれも東ト総合会館。

オンラインでは会場説明会の同時配信と申請説明動画を後日配信する。

参加申し込みなど詳細は、東ト協HPを参照。

関東運輸局

東運支局長に小濱氏

東京運輸支局長に、4月1日付で小濱照彦氏(国土交通省海事局付)が就任した。

小濱照彦氏は、昭和62年運輸省入省。出身。大阪大学大学院工学研究科造船学専攻前期課程修了。



小濱氏

昭和三十九年運輸省入省。国立研究開発法人海上・港湾・航空技術研究所企画部長、神戸運輸監理部海上安全環境部長、国交省海事局付(研究休職)を歴任。

2年度 第2回 運管試験
合格率43・9%

運行管理者試験センターの発表によると、令和2年度第2回運行管理者試験(貨物)の合格者数は全国で1万4295人、合格率は43・9%だった(筆記試験とコンピュータ

筆記試験は廃止へ

1利用によるCBT試験の合計)。東京会場の合格者数は1468人で、合格率は48・5%。なお、同センターは令和3年度以降、筆記試験を廃止して全面的にCBT試験で行うと発表した。詳細は、4月下旬に公示予定。

国土交通省(4月1日)

四国運輸局長(鉄道建設・運輸施設整備支援機構審議役) 吉元博文▽自動車局貨物課長補佐(自動車局総務課企画室課長補佐) 古賀重徳▽同局貨物課長補佐(同局貨物課専門官) 井口俊也▽同局安全・環境基準課長(自動車技術総合機構審議役) 猪股博之

関東運輸局(4月1日)

総務部次長(海上安全環境部海事保安・事故対策調整官) 岡村清二▽自動車局貨物課専門官(埼玉運輸支局首席運輸企画専門官・輸送) 青木宏之▽東京運輸支局次長(海上安全環境部首席運輸航務監理官) 内山彰敏▽山梨運輸支局長(自動車技術総合機構) 加野島仁▽総務部長(自動車監査指導部長) 服部和訓▽自動車監査指導部長(東京運輸支局次長) 本江幸一▽東京運輸支局次長(埼玉運輸支局次長) 尾林信二▽東京運輸支局首席運輸企画専門官・輸送(神奈川運輸支局首席運輸企画専門官・輸送) 小泉伸介▽群馬運輸支局長(自動車交通部次長) 小松和則▽

東京都(4月1日)

建設局長(人事委員会事務局任用公平部長) 須藤栄

天然ガストラックは物流の
エネルギーセキュリティ向上と
大気環境改善を実現します。

石油系燃料に頼らない天然ガストラックは東日本大震災直後でも、大半が運行を停止することがありませんでした。天然ガスの産地は世界中にあり、エネルギーセキュリティ性が高いことが特徴です。さらに天然ガストラックはCO₂やNO_x、PMなどの排出量が少ないため大気環境改善に貢献しています。

エネルギー・フロンティア
TOKYO GAS

NGV 事業室

〒105-8527 東京都港区海岸 1-5-20

Tel.03-5400-6774

<http://eee.tokyo-gas.co.jp/product/ngv/>

NGV

東ト協 環境委員会



3年度の実施事業を承認

GEP推進でDX支援も

東京都トラック協会環境委員会(竹内政司委員長)は3月22日、東ト総会館で令和2年度第3回委員会(Web会議併用)を開催し、2年度のグリーン・エコプロジェクト(GEP)活動をはじめ、これからは環境対策においてもDX(デジタルトランスフォーメーション)の活用が求められるなど、新しい時代への対応が必要になる」と述べた。

議事ではまず環境対策

東ト協 労務厚生委員会

東ト協労務厚生委員会は(飯田勇一委員長)は、このほど、令和2年度第2回委員会を審議で行い、2年度の労務厚生関係事業の実施結果および福利厚生対策事業の実施状況と、令和3年度の事業実施計画を承認した。

令和2年度は、新型コロナウイルスに伴い、感染拡大防止対策を講じて講習会(Web会議併用)や健康診断(人数制限)を実施し、多くの会員事業者が参加した。

福利厚生対策事業の実施状況については、新型コロナウイルスの影響により研修

3年度実施計画を承認 健診受診率向上へ助成

講習会▽支部主催健康診断への助成▽本部集団健康事業▽健康診断助成事業(SAS)スクリーニング検査助成事業▽血圧計導入促進助成事業(全日本トラック協会取次)▽脳MRI健診助成事業▽総合的ドライバー健康対策事業

健診助成事業では、会員従業員の定期健診の受診率向上を図るため、本部と支部の集団健診、および支部健診機関以外を含めて、受診費用について1人当たり1000円を助成する。またSAS助成や血圧計助成、脳MRI健診助成も、令和2年度と同額の助成を行う。

◆3年度第1回 本部集団健診◆

6月12日(土)	6月13日(日)
① 8時30分～9時30分	⑦ 8時30分～9時30分
② 9時30分～10時30分	⑧ 9時30分～10時30分
③ 10時30分～11時30分	⑨ 10時30分～11時30分
④ 11時30分～12時30分	⑩ 11時30分～12時30分
⑤ 14時30分～15時30分	※申し込みは原則、時間帯別とし、①～⑩のいずれかの枠で。定員は各時間帯も40人、⑥のみ20人
⑥ 15時30分～16時00分	

東ト協は6月12・13日(土・日曜日)、令和3年度第1回「本部集団健診(定期健康診断)」を実施する(本号に開催通知・受診申込書を同封)。

受診対象は会員事業所

健康診断助成事業 1社30人を上限に 1人1,000円助成

東ト協は、令和3年度「健康診断助成事業(定期健康診断)」を実施し、健診受診費用について1社につき30人を上限(ただし、会費納入車両数まで)として、1人当たり1000円を助成する。

助成対象は東ト協会員事業所に在籍するトラック運転者。各支部・本部主催の健診のほか、これ以外の健診機関で受診した場合も対象。

事業期間は今年4月から令和4年3月10日まで。この期間中に受診および助成金申請書を提出したものが対象(3年度内に支払い処理が完了するものは、同期間後の受診も対象)。なお、各支部・本部主催の健診受診の場合、助成金申請書の提出は不要。

近年、運転者の健康起

におけるDX導入を支援する。都の支援を受け、AIによる配送計画作成技術などを活用し、さらなるCO2削減の取り組みを進めていく方針を示した。

このほか、令和3年度の国や東京都の予算、事業について報告した。

東ト協本部事務局人事(3月31日) 退職(財務部交付金会計担当部長)奥原正人(4月1日) 東京都から派遣採用財務部交付金会計担当部長、矢崎節子▽新規採用同部交付金会計グループ副参事、村上正明▽同業務部交通環境グループ、尾毛谷拓也▽同

東ト協本部事務局人事(3月31日) 退職(財務部交付金会計担当部長)奥原正人(4月1日) 東京都から派遣採用財務部交付金会計担当部長、矢崎節子▽新規採用同部交付金会計グループ副参事、村上正明▽同業務部交通環境グループ、尾毛谷拓也▽同

東ト協本部事務局人事(3月31日) 退職(財務部交付金会計担当部長)奥原正人(4月1日) 東京都から派遣採用財務部交付金会計担当部長、矢崎節子▽新規採用同部交付金会計グループ副参事、村上正明▽同業務部交通環境グループ、尾毛谷拓也▽同



東京都市トラック交通遺児等助成財団に、次の方々から寄附がありました。◇建設専門部会(沼尾



一雄部会長) 写真①は浅井隆会長へ寄附金を手渡す副部会長の杉野健一郎氏◇多摩支部(笠原史久支部長) 写真②は浅井会長に寄附金を贈呈する笠原氏◇

協会 日誌

24日 運輸安全委員会▽フェスタ実行プロジェクトワーキンググループ会議

25日 衛生委員会▽物流政策委員会▽鉄骨・橋梁専門部会全体会議

29日 事務局部長会▽同協常任理事会(書面)

16日 東京都貨物自動車運送適正化事業実施機関評議会▽女性部正副部長会議▽同幹事会▽グリーン・エコプロジェクトセミナー(17日)

17日 東京都トラック協会の今後のあり方検討委員会▽常任理事会・総務委員会合同会議▽ロジ研正副部長会議・幹事会合同会議

18日 青年部研修会

19日 指導監査

22日 環境委員会正副委員長会議▽環境委員会▽労務厚生委員会(書面)

23日 理事会

日程ボード

4月16～30日

16日(金) 15時 支部事務局長会議(東ト総会館)

19日(月) 10時 東京都「貨物輸送評価制度」・東ト協「グリーン・エコプロジェクト」説明会(東ト総会館/Web併用) 15時30分 食料・酒類飲料専門部会役員会(同) 16時 ロジ研正副部長会議(同)

20日(火) 14時 2日ドラッグレコーダーを活用した

27日(火) 14時 環境対応支援策説明会・東京都「貨物輸送評価制度」説明会(東ト総会館/Web併用)

28日(水) 14時 環境対応支援策説明会・東京都「貨物輸送評価制度」説明会(東ト総会館/Web併用)

29日(木) 9時 初任運転者特別講習 東ト総会館(24日) 14時 フェスタ実行プロジェクトワーキンググループ会議(東ト総会館/Web併用)

22日(木) 13時 東京都トラック協会の今後のあり方検討委員会(東ト総会館/Web併用)

21日(水) 16時 関東・甲信越重量部会正副部会長・委員・監事合同会議(東ト総会館/Web併用)

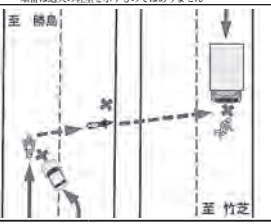
20日(火) 16時 関東・甲信越重量部会正副部会長・委員・監事合同会議(東ト総会館/Web併用)

23日(金) 9時 初任運転者特別講習 東ト総会館(24日) 14時 フェスタ実行プロジェクトワーキンググループ会議(東ト総会館/Web併用)

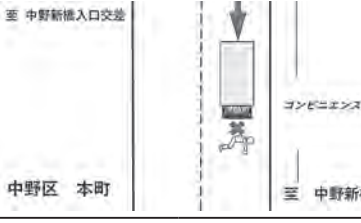
トラック事故速報 死亡事故

問い合わせ先：東京都トラック協会 業務部交通環境G ☎03-3359-3618

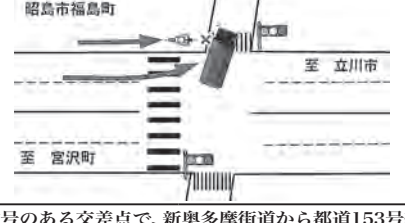
●車線変更を行う際は、周囲の交通状況、及び周辺の車両等の動きに注意を払い、無理のないように実施すること。

日時	3月19日(金) 9時52分頃発生(晴天)
場所	港区区内(首都高速羽田線)
当事者	自動二輪車(男性20代死亡)×自家用普通乗用車(男性40代) ×事業用中型貨物車(男性40代) 順路は過失の軽重を示すものではありません
状況	
概要	首都高速羽田線下り車線を勝島方面へ進行していた自家用普通乗用車が車線変更を行った際、左車線を同方向に進行中の自動二輪車と接触し、バランスを崩した自動二輪車が中央分離帯に衝突し、車体から反対車線へ投げ出された自動二輪車の運転者が、同道路上り線を竹芝方面へ進行していた事業用中型貨物車に轢過されたもの。

●夜間や雨天時は視認性が悪くなるため、速度を落として走行し、早めのライト点灯や道路状況によりハイビームを活用するなどして安全確保を図ること。また深夜早朝の時間帯でも、路上に歩行者がいる、飛び出してくる“かもしれない”運転を徹底し、事故の未然防止に努めること。

日時	3月21日(日) 3時32分頃発生(雨天)
場所	中野区内(区道)
当事者	歩行者(男性60代死亡)×事業用中型貨物車(男性60代) 順路は過失の軽重を示すものではありません
状況	
概要	片側一車線の道路を通行していた事業用中型貨物車が、路上横臥中の歩行者を轢過したもの。

●交差点で左折を行う際は、横断歩道や停止線の手前でいつでも停止できる速度に減速、または一時停止を行い、安全確認を怠らないこと。

日時	3月25日(木) 15時37分頃発生(曇天)
場所	昭島市内(新奥多摩街道)
当事者	自転車(女性50代死亡)×事業用大型貨物車(男性50代) 順路は過失の軽重を示すものではありません
状況	
概要	信号のある交差点で、新奥多摩街道から都道153号線に左折進入しようとした事業用大型貨物車が、宮沢町方面から立川市方面へ横断歩道上を進行していた自転車と衝突したもの。

3年度SDコンテスト 東ト協参加者を募集

警視庁 主催



が上位5位以内の無事故・無違反達成者には、東京都トラック交

警視庁交通部主催の令和3年度「セーフティドライブ・コンテスト」(SDコンテスト)が、7月1日から12月31日まで実施される。これに伴い、東京都トラック協会は各支部を通じて参加チームを募集している。

SDコンテストは5人1組のチームで参加し、期間中の無事故・無違反(私用の運転を含む)達成を目指すもの。東ト協では、同コンテストへの参加が交通安全意識の向上に役立つことから、参加促進を図っている。

期間中にチーム全員が無事故・無違反を達成した場合、警視庁交通部から全員に「無事故・無違反達成賞」として記念品が贈呈される。あわせて、無事故・無違反達成証を授与された参加事業者(都内営業所)には、東ト協会長から表彰状が贈ら

2年度SDコンテスト 東ト協チーム実施結果

65・3%だった。また、個人達成率(全支部平均)は91・2%だった。

同コンテストの結果、チーム達成率が優秀だった千代田・港・世田谷・中野・豊島・深川・墨田・多摩・全国物流ネットワーク協会・東京環境保全協会の10支部に対しては、警視庁交通部長の感謝状が贈呈され、八丈

無事故無違反 達成率は65%

これらの違反は重大事故につながるから、改めて教育・指導の徹底が求められている。

同局と関係団体・機関で構成される「関東地域

これにより、近年、事故防止の取り組みに活用できるように、管内で発生した交通事故情報を同局ホームページ(HP)で定期的に公表することにした。

関係局 事業用の事故情報 HPで定期的に公表

関東運輸局は、管内における事業用自動車による交通事故防止への取り組みの一環として、運送事業者が自社における事故防止の取り組みに活用できるように、管内で発生した交通事故情報を同局ホームページ(HP)で定期的に公表することにした。

同局と関係団体・機関で構成される「関東地域

運行管理者用

健康起因事故 防止マニュアル

関交協では運送事業者の皆様とともに、交通事故削減を課題とし、様々な事故防止支援を行っております。近年、運転者の健康状態に起因する事故が増加傾向にあることから、事故に至る前に健診結果等を活用し、運転中に発症に至るリスクをできるだけ低減する取り組みが必要と考え、マニュアルを作成しました。

運行管理者の皆様にご一読いただき、事故防止にご活用いただければ幸いです。



●トラックの自動車事故損害賠償と交通事故防止●
関東交通共済協同組合

ご希望の方は、関交協・安全推進部まで
TEL：03-5337-1754
MAIL：anzen@kankokyo.or.jp



東ト協連 第34回 運賃動向調査

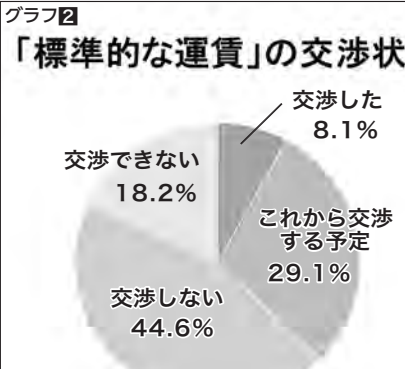
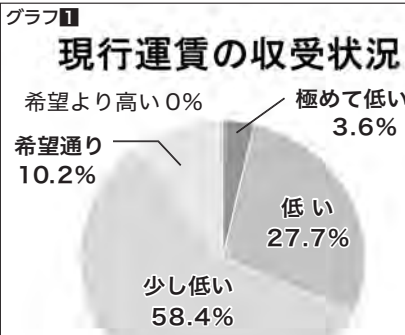
収受運賃「低い」が増加

荷動き下げ止まり傾向に

最近半年間の収受状況は、「特に変化はない」が145事業者(86・8%)と最も多く、前回より増加した。一方、「値上げになった」は7事業者(4・2%)にとどまり、前回より大きく減少し、事業者の厳しい収受状況が示される結果となった。半年後の収受状況も、「特に変わらないと思う」が134事業者(80・2%)と引き続き最も多い。また、「標準的な運賃」が告示されたことに ilişkinは、「知っている」が148事業者(88・1%)と9割近くを占め、前回より事業者の認知度は高まっている。ただ、このうち荷主企業や元請事業者などと「交渉しない」との回答が66事業者(44・6%)と最も多く、「交渉できない」18・2%、「これから交渉する予定」29・1%と、交渉する事業者は約3割に留まっている。

東京都トラック運送事業協同組合連合会はこのほど、第34回「運賃動向に関するアンケート調査」結果をまとめた。それによると、現行の収受運賃料金は希望より低いとの回答が前回調査(昨年7月時点)より増え、全体の9割弱に上った。また、新型コロナウイルス感染症により荷動きが悪化したとの回答が全体の3分の2と多いが、その割合は前回調査より減り、下げ止まりの傾向にあるようだ。

「標準的な運賃」で交渉予定は約3割



「標準的な運賃」の交渉状況は、交渉した8.1%、交渉できない18.2%、これから交渉する予定29.1%、交渉しない44.6%と、交渉する事業者は約3割にとどまっている。また、「標準的な運賃」が告示されたことに ilişkinは、「知っている」が148事業者(88・1%)と9割近くを占め、前回より事業者の認知度は高まっている。ただ、このうち荷主企業や元請事業者などと「交渉しない」との回答が66事業者(44・6%)と最も多く、「交渉できない」18・2%、「これから交渉する予定」29・1%と、交渉する事業者は約3割にとどまっている。

関東トラック協会(会長・浅井隆)は、このほど、令和2年度第2回常任理事会を、令和3年度事業計画書などを承認した。事業計画では、「標準的な運賃」告示を踏まえ、コストに見合った適正運賃の収受をはじめ、事故防止、環境対策、労働力確保など課題克服への取り組みを推進する方針。特に「標準的な運賃」に関して広報活動を行うとともに、事業者の運賃交渉力の向上に向けた対策を推進する。

あわせて、長時間労働の削減など働き方改革や「働きやすい職場認証制度」の取得促進、物流効率化などにより、「ホワイット物流」実現に向けた取り組みを推進する。また人材確保対策の一環として、準中型免許制「標準的な運賃」を広報交渉力向上へ対策推進



「標準的な運賃」を広報交渉力向上へ対策推進

3年度中に2千社へ

詳細は、同機構のホームページを参照。

関東トラック協会(会長・浅井隆)は、このほど、令和2年度第2回常任理事会を、令和3年度事業計画書などを承認した。事業計画では、「標準的な運賃」告示を踏まえ、コストに見合った適正運賃の収受をはじめ、事故防止、環境対策、労働力確保など課題克服への取り組みを推進する方針。特に「標準的な運賃」に関して広報活動を行うとともに、事業者の運賃交渉力の向上に向けた対策を推進する。

「標準的な運賃」を広報交渉力向上へ対策推進

詳細は、同機構のホームページを参照。

関ト協 常任理事会

関東トラック協会(会長・浅井隆)は、このほど、令和2年度第2回常任理事会を、令和3年度事業計画書などを承認した。事業計画では、「標準的な運賃」告示を踏まえ、コストに見合った適正運賃の収受をはじめ、事故防止、環境対策、労働力確保など課題克服への取り組みを推進する方針。特に「標準的な運賃」に関して広報活動を行うとともに、事業者の運賃交渉力の向上に向けた対策を推進する。

「標準的な運賃」を広報交渉力向上へ対策推進

詳細は、同機構のホームページを参照。

詳細は、同機構のホームページを参照。

国土交通省・経済産業省・物流連が共催

「高度物流人材」テーマに4月27日 シンポジウム

国土交通省・経済産業省・物流連が共催

国土交通省・経済産業省・物流連が共催

国土交通省・経済産業省・物流連が共催

国土交通省・経済産業省・物流連が共催

トラック運送業

労働管理のポイント

NACマネジメント研究所 所長
小林 弘和 (社会保険労務士)

中小企業の

「同一労働同一賃金」スタート

「パートタイム・有期雇用労働法」が4月1日から、中小企業に対して適用されることとなり、ニュース報道などでも取り上げられる機会が増えています。

「同一労働同一賃金」に対応していくためには、基本給および諸手当、賞与などからなる賃金体系の見直し

◎同一労働同一賃金とは

同一企業内における正規社員と非正規社員との間の「不合理な待遇差」をなくし、どのような雇用形態を選択しても待遇に納得して働き続けられるようにし、多様で柔軟な働き方を選択できるようにすることを目的としています。

①主な法律の内容

①不合理な待遇差を解消するための規定の整備
▽短時間・有期雇用労働者に関する同一企業内の正規雇用労働者との不合理な待遇差の禁止に関する、個々の待遇ごとに、当該待遇の性質・目的に照らして判断されるべき旨を明確化

②不均等待遇規定について

短時間・有期雇用労働者について、正規雇用労働者との待遇差の内容・理由などに関する説明を義務化

③賞与

賞与について、会社の業績などへの貢献に応じた支給する場合、無期雇用フルタイム労働者と同一の貢献である有期雇用労働者またはパートタイム労働者またはパートタイム労働者には同一の賞与、貢献に一定の違いがある場合には、その相違に応じた賞与を支給をしなければなりません。

◎企業の対応の方向性

企業が今後、同一労働同一賃金に対応するためには、

①基本給
基本給について、労働者の職業経験・能力、業績・成果、勤続年数に応じて決定しようとする場合、無期雇用フルタイム労働者(正社員)と同一の職業経験・能力、業績・成果、勤続年数の有期雇用労働者には、同一

②昇給
昇給について、勤続による職業能力の向上に応じて行う場合には、無期雇用フルタイム労働者と同一の勤続により職業能力が向上した有期雇用労働者またはパートタイム労働者に対しては同一の昇給、一定の違いがある場合にはその相違に応じた昇給を行わなければならない。

③賞与
賞与について、会社の業績などへの貢献に応じた支給する場合、無期雇用フルタイム労働者と同一の貢献である有期雇用労働者またはパートタイム労働者には同一の賞与、貢献に一定の違いがある場合には、その相違に応じた賞与を支給をしなければなりません。

④その他の手当など
業務の危険度、作業環境、勤務形態に応じて支給される特殊作業・特殊勤務手当については、無期雇用フルタイム労働者と同一の作業環境・勤務形態の業務にあたる有期雇用労働者またはパートタイム労働者には、同一

もう一つの千駄ヶ谷駅

東京オリンピック・パラリンピックに向け変貌を遂げた「千駄ヶ谷駅」。1904(明治37)年、甲武鉄道の駅として開業した。東京大空襲で被災した後、木造バラック駅舎で凌ぎ、国鉄発足7年後に新駅舎が完成した。



1964(昭和39)年の東京オリンピックに合わせた改築され、臨時ホームを備えた。それから55年、千駄ヶ谷駅は再び新たな駅舎として生まれ変わった。

かつて、現在の上りホームと対面する形でもう一つの仮駅があった。1927(昭和2)年に竣工した「新宿御苑仮停車場」がそれだ。大正天皇の大喪の礼の際、霊柩列車を奉送運行するため設置された、2日限りの停車場である。当時の施工は、鹿島組(鹿島精一組長)へ特命随意契約

が交わされ、全ての資材は東京鉄道局が手配した。鹿島建設の鹿島組史料によると、崩御から5日後の1926(昭和元)年12月30日、鉄道局から停車場上屋図面を渡されたという。

大喪の礼は2月7日で、駅舎竣工は1月20日と工期は16日間の突貫工事だった。人海戦術がとられ、1日で多い時には100人以上の作業員が従事したという。1月15日に上棟式、大喪の礼の10日前の27日に無事、引き渡しが完了した。

実は、今でも仮停車場の上屋部分が高尾駅に移築され、余生を送っている。千駄ヶ谷駅上りホームに佇むと、向かいに中央快速が行き交う。霊柩列車の始発駅となった新宿御苑仮停車場の相貌を想像しながら、新生された千駄ヶ谷駅ホームを後にした。

実は、今でも仮停車場の上屋部分が高尾駅に移築され、余生を送っている。千駄ヶ谷駅上りホームに佇むと、向かいに中央快速が行き交う。霊柩列車の始発駅となった新宿御苑仮停車場の相貌を想像しながら、新生された千駄ヶ谷駅ホームを後にした。

パズル & クイズ

by 草野 公平

🔍 二字熟語のしりとりパズル

二字熟語のしりとりです。「新」からスタートして全ての漢字を二字熟語のしりとりで進むと、最初と最後の二字熟語は何でしょう？一つの漢字を音読みと訓読みする場合もあるのでご注意ください！

スタート

火炭新人検事 星空石妻外実家 下流子結婚意庭 廊画子供儀合場 積録給楽式送芸 会明記金音風直能 議日魚本療景率 閣案備拓養治色素 内考装舗老湯足

【解答】

□□⇒□□

応募方法

官製はがきに、①答え②あなたの住所・郵便番号③会社名④氏名⑤年齢⑥本紙へのご意見・ご要望を明記し、お送りください。正解者の中から抽選で3名様に図書カード(1,000円分)をプレゼント。
☆ インターネットでの応募も可能です。
<https://www.totokyo.or.jp/>
☆ インターネット応募の場合、解答フォームをご利用ください。東ト協HPトップ「会員の皆様へ」をクリックし、「東京都トラック時報→」から「パズル&クイズ 解答フォーム」へ。

●宛先
〒160-0004 新宿区四谷3-1-8 (一社)東京都トラック協会 総務部広報G「トラック時報」係
●締め切り
4月末日(正解は5月15日号に掲載)
★3月10日号「キー無しクロスワード」の正解は「トラックジホウ」でした。

三丁目

収まる気配がなく、相変わらず世間は騒がしい。このところ内外の情勢ともに落ち着かない。新型コロナウイルスは再拡大の様相を呈している。改めて、感染症の恐ろしさを感じる ◆学者、磯田道史氏の『感染症の日本史』によれば、100年に約1回襲ってくる大津波よりも頻発するのが「ウイルスのパンデミック」という。感染症の世界的大流行のことを指すが、いかに感染症が怖いかわかるべし」だろう ◆そんな中、3・4月は学生にとって卒業や入学で、いわば晴れの舞台であるが、あまりスツキリした感じにならない。実際の当事者より、ハタの第三者の気持ちに曇りがちになるからだろう ◆子供の卒業や入学は親の方が浮き足立っているのが昨今の様相だったが、何やら控えめなのもコロナ禍らしい風景である。子供たちが成人して過去を思い出すとしたら、切ないものがあるかもしれない ◆流転の世界では何が起ころうともおかしくない。自然にいては、春夏秋冬が間違いないやってくる。それに比べれば、人間の出来事は小さいのかもしれない。